

東日本大震災復興応援

「fukushima さくらプロジェクト」 で福島・東北を応援



写真提供：森林総合研究所

コーセーは、2013年より東日本大震災の被災地への復興支援の一環として、「fukushimaさくらプロジェクト」に参加しています。3年目を迎えた2015年4月には、当社ならではの取り組みである化粧品のキャンペーンで育成した新種のさくらの苗木を、初めて会津若葉幼稚園（福島県会津若松市）に寄贈しました。少しずつ着実に、桜と笑顔が広がっています。



fukushimaさくらプロジェクト

大きな爪あとが残った東日本大震災の被災地では、月日の経過とともに、復興が着実に進んでいますが、福島では原発事故に伴う復興の遅れから、直接・間接的な支援が必要な状況が続いています。

これを背景に福島の現状を忘れず、風化させないために「fukushima さくらプロジェクト」が2013年に立ち上げられました。多くの企業の参加（協賛）により、シンボルとなる新種のさくらを増やし、福島県から国内外に届けることを通じて、福島・東北を応援する機運を醸成する広報活動を行うプロジェクトです。

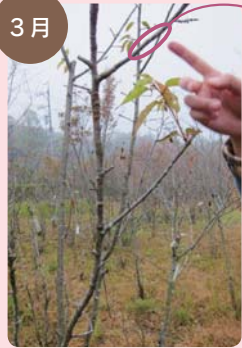
子どもたちが安心して暮らせる未来のために、それぞれの参加企業が福島発の新種のさくらを、さまざまな方法で多くの人々に伝え、行動を促すきっかけづくりをしていきます。

新種のさくらは森林総合研究所が開発し、福島・東北を応援するシンボルとして福島県に贈られたものです。

2013年より、福島県森林研究センターに建設された苗木の養生ハウスで増殖を進め、2014年から福島県外への贈呈が開始されました。これからは順次全国各地へ贈呈し、拡大を進めていきます。

新種のさくらが全国に広がるまで

2013年



3月
苗木の増殖
芽の出た枝を採取して増やす「接ぎ木」で増殖させ、株分けしていきます。



7月
専用ハウス
郡山市内の福島県林業研究センターで大切に育てます。



12月
福島県内での植樹
震災後1000日を機に福島県会津若松市鶴ヶ城にて植樹イベントを実施。

2014年

2月
福島県外に初めての植樹
福島県から京都市の同志社大学に初めて県外に贈呈されました。その後植樹を希望する団体・個人に苗木を順次贈呈。（NHK福島局、JRA福島競馬場、福島県白河市、兵庫県豊岡市出石、京都府庁旧本館 など）



2015年



4月
当社から初めての苗木贈呈
福島県会津若松市の会津若葉幼稚園（福島県会津若松市）にさくらを贈呈、植樹式を実施しました。園児たちの夢や希望を見守り続けるシンボルとしての願いがこめられています。



5月
植樹から1か月後、根付いたさくらの木から、緑の葉が元気に広がっていました。

全国で開花

2014年度の取り組み ① 鶴ヶ城プロジェクト マッピングに協賛

2015年3月に、3回目となる「鶴ヶ城プロジェクトマッピング」が開催されました。福島県会津若松市の象徴「鶴ヶ城」の城壁に、大輪の花をつけたイメージ映像が投影され、多くの人々に「未来」へ向けた強いメッセージを届けました。同時上映の「夢の春」デザインコンテストでは、福島県の小学6年生がデザインした「夢の春」100作品が紹介されました。年を追うごとに県外からの来場者が増え、観光産業の復興支援にもつながっています。



2015年テーマ「あかべこものがたり」

2014年度の取り組み ② 化粧品を通じて 新種のさくらを拡大

2013年より、化粧品の販売を通じてキャンペーンを実施、新種のさくらの増殖を支援しています。2015年1月からのキャンペーンでは、昨年を引き続き、当社の代表ブランド『エスブリーク』と『コスメデコルテ』に、新たに『プレディア』を加えました。期間中は対象商品の外装箱に共通ロゴを表記して告知活動を行うだけでなく、お買い上げ金額の一部を増殖費用として寄付しています。お使いいただくたび、福島・東北への想いを馳せていただければ、対象商品は容器やパフをはじめ、カラー、香りに至るまで新種のさくらをイメージしました。

2014年度の取り組み ③ さくらが見守る場所で広がる 元気な子どもたちの声

当社がさくらを贈呈した会津若葉幼稚園には、福島県内の他の市町村から避難している子どもたちも在園しています。植えた苗木の根元には、園児たちが描いた「将来の夢」を入れたタイムカプセルも埋められました。さくらの生長とともに園児たちの夢も大きく広がっていくことでしょう。今後も当社から、幼稚園や保育園などにさくらを贈呈する予定です。



根元に埋められたタイムカプセル

VOICE



コーセー化粧品販売(株)
福島支店長 石黒 健二

東 日本大震災から4年が経ち、東北・福島が震災で失ったものは計り知れませんが、人と人の絆は震災を通じてより深まりました。新種のさくらの広がりを通じて、全国の皆様が被災地の活動を応援してくださっていることを実感しております。未来を担う子供たちの健やかな成長を祈るとともに、「化粧品の力」を通して、被災地の方を笑顔にするように取り組んでいきます。